

# 週刊 タバコの正体

皆さん、夏休みはいかがでしたか。長期の休暇を利用して、いつもなら体験出来ないことや初めての土地や場所へ出かける機会もあったのではないのでしょうか。いつもは余裕がなくて読めない本をじっくり読んだり、映画やDVDを鑑賞することで自分の知らない世界を経験できた人もいるでしょうね。

“初めて知った事”がきっかけで、自分の行動や気持ちが変わる事はよくあります。たとえば、映画の主人公に感化されてその人の行動を真似してみたり、旅行に出かけて「世の中って、広くて色々な」なんて、身の回りの些細な事が気にならなくなって気持ちが大きくなったりします。

さて話は変わりますが、下のグラフを見て下さい。白いグラフが喫煙者本人の吸い込む煙(主流煙)、色付きのグラフがタバコの先から出る煙(副流煙)です。

本人(主流煙)よりも、まわりの人が吸わされる煙(副流煙)の方がはるかに有害なのがわかります。

こんな事を“初めて知った”人もいるでしょう。多くの人にこの事実を知ってもらえば、多くの人の行動が変わるかも知れません。そうなれば、多くの人が健康で快適に暮らせますよね。

吸わされる煙の方が50倍も危険

産業デザイン科 奥田 恭久

